



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月28日

上場会社名 フジオーゼックス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7299 URL https://www.oozx.co.jp  
 代表者（役職名） 代表取締役社長執行役員（氏名） 辻本 敏  
 問合せ先責任者（役職名） 常務取締役執行役員（氏名） 藤川 伸二（TEL）(0537)35-5873  
 半期報告書提出予定日 2024年11月11日 配当支払開始予定日 2024年12月5日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有（個人投資家・機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満四捨五入）

## 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

## （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	11,668	0.9	792	24.6	650	△24.4	191	△75.3
2024年3月期中間期	11,566	3.7	635	4.2	861	4.3	774	33.0

（注）包括利益 2025年3月期中間期 △94百万円（-） 2024年3月期中間期 1,258百万円（16.5%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	18.70	—
2024年3月期中間期	75.37	—

（注）当社は2024年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり中間純利益」を算定しております。

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	36,530	29,638	79.7
2024年3月期	36,529	30,136	81.1

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 29,126百万円 2024年3月期 29,625百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	100.00	—	150.00	250.00
2025年3月期	—	20.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	30.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

（注）当社は2024年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

## 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	6.9	2,000	23.0	1,800	△6.7	950	△50.8	93.02

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

（注）当社は2024年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期の連結業績予想における「1株当たり当期純利益」については、当該株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有  
新規 1社(社名) 株式会社ピーアンドエム、除外 1社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期中間期	10,279,750株	2024年3月期	10,279,750株
2025年3月期中間期	78,745株	2024年3月期	10,675株
2025年3月期中間期	10,212,554株	2024年3月期中間期	10,269,325株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

(注) 当社は2024年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」および「期中平均株式数」を算定しております。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の予想の前提となる条件等については第2四半期(中間期)決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(企業結合等関係)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当中間期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化、雇用・所得環境の改善、インバウンド需要の増加などにより緩やかな回復基調となりました。しかしながら、中東情勢を中心とする地政学リスクの更なる悪化、エネルギー、原材料の価格高騰、不安定な為替相場等の影響により依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの属する自動車業界につきましては、認証不正問題により一部メーカーの生産・出荷が停止した影響もあり、国内自動車販売台数は減少したものの、徐々に回復し正常化に向かうとみられます。

このような市場環境のなか、当社グループにおきましては、前年同期比で国内販売は1.3%減少しましたが、北米向けの受注が増加したことから海外販売が7.2%の増加となっており、国内外を合わせると0.9%の販売増となりました。

利益につきましては、継続的な固定費の徹底圧縮による原価改善活動や賃上げによる労務費上昇分の売価転嫁などが進み、営業利益は前年同期比で増益となりました。一方、急激な円高による為替差損の計上により経常利益は前年同期比で減益、メキシコ子会社において前連結会計年度末に計上した繰延税金資産のドル評価額がドル高メキシコペソ安により減少したことに伴い、法人税等調整額(損)を計上したことにより親会社株主に帰属する中間純利益につきましても前年同期比で減益となりました。

以上の結果、売上高は11,668百万円(前年同期比102百万円増)、営業利益は792百万円(前年同期比157百万円増)、経常利益は650百万円(前年同期比210百万円減)、親会社株主に帰属する中間純利益は191百万円(前年同期比583百万円減)となりました。

セグメントの業績については、次のとおりであります。

なお、2024年7月3日付で株式会社ピーアンドエムの株式を取得したことに伴い、当中間連結会計期間より同社を「その他」セグメントに含めております。

## (自動車部品製造事業)

自動車部品製造事業は主にエンジンバルブ、バルブシート、コッタ、リテーナ、機械等の製造、販売を行っております。当中間連結会計期間における自動車部品製造事業の売上高は、前年同期比1.5%減少の11,296百万円、セグメント利益は前年同期比28.6%増加の807百万円となりました。

## (その他)

その他事業は、ファクトリーオートメーション機器等の精密部品やリチウムイオン電池等に使用されるセパレーターフィルム等の製造用金属ロール、シャフト等の金属製品・部品の製造、販売を行っております。当中間連結会計期間におけるその他事業の売上高は、株式会社ピーアンドエムを連結の範囲に含めたことにより、前年同期比283.2%増加の372百万円となりました。一方、シリコンサイクルの下降局面に伴う受注調整等の影響で同社の販売が低位となったことで、セグメント損失は15百万円(前年同期はセグメント利益8百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2百万円増加し36,530百万円となりました。総資産増加の主な内訳は、のれんの増加515百万円、商品及び製品の増加356百万円、流動資産(その他)に含まれる預け金の減少911百万円であります。

のれんは株式会社ピーアンドエムの株式取得により増加し、流動資産(その他)に含まれる預け金は、当該株式取得に向けた原資確保のため、手元資金の運用を目的とした関係会社への預け金を解約したことにより減少しております。

#### (負債)

当中間連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ500百万円増加し6,892百万円となりました。負債増加の主な内訳は、短期借入金の増加622百万円であります。

短期借入金は、在外連結子会社における借入により増加しております。

#### (純資産)

当中間連結会計期間末の非支配株主持分を含めた純資産は、前連結会計年度末に比べ498百万円減少し29,638百万円となりました。純資産減少の主な内訳は、為替換算調整勘定の減少292百万円であります。

為替換算調整勘定は、円高の影響により減少しております。

### ②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ1,351百万円減少し5,729百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は599百万円(前年同期は1,947百万円の獲得)となりました。収入の主な要因は非資金損益項目である減価償却費1,159百万円、支出の主な要因は法人税等の支払額549百万円であります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は2,031百万円(前年同期は746百万円の使用)となりました。支出の主な要因は連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出980百万円、有形固定資産の取得による支出954百万円によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は143百万円(前年同期は1,011百万円の使用)となりました。収入の主な要因は短期借入金の純増減額639百万円、支出の主な要因は配当金の支払額308百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月8日に公表しました2025年3月期の通期業績予想を下記のとおり修正いたしました。

詳細につきましては、本日公表の「2025年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2025年3月期通期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	26,500	2,550	2,390	1,580	153.86
今回発表予想(B)	25,000	2,000	1,800	950	93.02
増減額(B-A)	△1,500	△550	△590	△630	—
増減率(%)	△5.7	△21.6	△24.7	△39.9	—
(ご参考)前期実績 2024年3月期	23,382	1,627	1,928	1,931	188.08

※当社は2024年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な不確定要素により、実際の業績と異なる場合がありますのでご了承ください。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,838,365	5,611,998
受取手形及び売掛金	4,921,778	5,098,535
商品及び製品	2,110,914	2,467,136
仕掛品	1,423,853	1,619,522
原材料及び貯蔵品	1,811,524	1,948,708
その他	1,497,748	716,966
貸倒引当金	△8,000	△12,840
流動資産合計	17,596,182	17,450,025
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,160,233	4,221,215
機械装置及び運搬具(純額)	8,413,737	8,471,357
土地	3,369,030	3,383,506
その他(純額)	1,387,215	1,158,891
有形固定資産合計	17,330,215	17,234,969
無形固定資産		
のれん	—	514,781
その他	114,859	105,278
無形固定資産合計	114,859	620,059
投資その他の資産		
その他	1,507,570	1,245,537
貸倒引当金	△20,100	△20,100
投資その他の資産合計	1,487,470	1,225,437
固定資産合計	18,932,544	19,080,466
資産合計	36,528,726	36,530,491
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,484,992	2,313,591
短期借入金	1,577,800	2,199,740
1年内返済予定の長期借入金	75,000	76,824
未払法人税等	543,764	149,485
賞与引当金	85,638	121,053
役員賞与引当金	5,760	—
その他	1,149,379	1,135,373
流動負債合計	5,922,332	5,996,065
固定負債		
長期借入金	—	398,712
役員退職慰労引当金	9,606	25,813
退職給付に係る負債	218,865	224,399
その他	242,060	247,451
固定負債合計	470,531	896,376
負債合計	6,392,863	6,892,441

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,018,648	3,018,648
資本剰余金	2,749,813	2,755,625
利益剰余金	22,562,464	22,445,390
自己株式	△10,280	△112,120
株主資本合計	28,320,644	28,107,542
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	914
為替換算調整勘定	1,284,472	992,247
退職給付に係る調整累計額	20,037	24,854
その他の包括利益累計額合計	1,304,509	1,018,015
非支配株主持分	510,710	512,493
純資産合計	30,135,863	29,638,050
負債純資産合計	36,528,726	36,530,491



## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	11,565,833	11,667,917
売上原価	9,348,004	9,225,978
売上総利益	2,217,829	2,441,939
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	494,559	573,610
荷造運搬費	226,600	275,658
賞与引当金繰入額	11,275	13,172
退職給付費用	59,367	25,357
その他	790,577	762,107
販売費及び一般管理費合計	1,582,379	1,649,904
営業利益	635,451	792,035
営業外収益		
受取利息	25,615	15,980
受取配当金	300	301
受取賃貸料	10,257	10,424
受取補償金	1,089	—
為替差益	206,124	—
その他	29,386	35,413
営業外収益合計	272,770	62,118
営業外費用		
支払利息	40,954	31,922
為替差損	—	157,325
固定資産除却損	5,358	4,796
その他	1,275	9,831
営業外費用合計	47,587	203,874
経常利益	860,633	650,279
特別利益		
負ののれん発生益	38,687	—
特別利益合計	38,687	—
税金等調整前中間純利益	899,321	650,279
法人税、住民税及び事業税	201,295	175,667
法人税等調整額	△83,420	278,496
法人税等合計	117,876	454,163
中間純利益	781,445	196,115
非支配株主に帰属する中間純利益	7,490	5,118
親会社株主に帰属する中間純利益	773,955	190,998

## 中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	781,445	196,115
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	914
為替換算調整勘定	469,080	△295,541
退職給付に係る調整額	7,065	4,798
その他の包括利益合計	476,144	△289,829
中間包括利益	1,257,589	△93,713
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,246,385	△95,497
非支配株主に係る中間包括利益	11,205	1,784

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	899,321	650,279
減価償却費	1,178,346	1,159,195
のれん償却額	—	16,606
貸倒引当金の増減額(△は減少)	780	4,840
賞与引当金の増減額(△は減少)	24,459	29,812
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,125	△5,760
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	26,340	14,467
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△17,465	△11,833
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,150	1,603
受取利息及び受取配当金	△25,915	△16,281
支払利息	40,954	31,922
有形固定資産処分損益(△は益)	3,025	2,330
受取補償金	△1,089	—
売上債権の増減額(△は増加)	△164,073	△164,661
棚卸資産の増減額(△は増加)	29,761	△439,407
仕入債務の増減額(△は減少)	80,484	△96,082
負ののれん発生益	△38,687	—
その他	△8,676	△40,517
小計	2,024,589	1,136,513
利息及び配当金の受取額	19,895	11,439
利息の支払額	△41,001	△31,954
補償金の受取額	1,089	—
法人税等の還付額	93,629	31,547
法人税等の支払額	△151,068	△548,878
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,947,132	598,667
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△602,309	△954,152
有形固定資産の売却による収入	3,248	2,554
投資有価証券の取得による支出	—	△75,000
無形固定資産の取得による支出	△23,765	△3,300
定期預金の預入による支出	—	△1,800
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△118,853	△979,553
その他	△4,701	△19,405
投資活動によるキャッシュ・フロー	△746,380	△2,030,656
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△760,085	639,100
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△110,000	△98,095
自己株式の取得による支出	—	△182,003
配当金の支払額	△133,501	△308,072
その他	△7,401	△7,900
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,010,987	143,029
現金及び現金同等物に係る換算差額	157,608	△61,762
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	347,373	△1,350,722
現金及び現金同等物の期首残高	5,503,837	7,079,430
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,851,210	5,728,708

#### (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年5月8日開催の取締役会決議に基づき、資本効率の向上と経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能とするため、自己株式125,000株の取得を行いました。なお、当該決議に基づく自己株式の取得につきましては、2024年6月21日をもって終了しており、これにより単元未満株式の買取りも含めて、自己株式が182,003千円増加しております。

また、当社は、2024年6月21日開催の取締役会における決議に基づき、2024年7月12日に譲渡制限付株式報酬として自己株式56,975株を処分しました。この処分等により自己株式は80,164千円減少しております。

この結果、当中間連結会計期間末において自己株式は112,120千円となっております。

(企業結合等関係)

(取得による企業結合)

当社は、2024年3月28日開催の取締役会において、株式会社ピーアンドエムの全株式を取得し、連結子会社化することについて決議し、2024年3月28日付で株式譲渡契約を締結いたしました。当該株式譲渡契約に基づき、当社は2024年7月3日に当該全株式を取得しております。

##### (1) 企業結合の概要

###### ① 被取得企業の名称およびその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社ピーアンドエム

事業の内容 金属製品・部品の製造販売、医療器具等の開発および製造販売

###### ② 企業結合を行った主な理由

当社は、2026年中期経営計画の基本方針の1つに『新規事業領域の育成および拡大』を掲げ、既存事業である自動車業界にこだわることなく、シナジーが得られそうな分野への更なるM&A投資を開始しております。

同社は、1998年の設立以来、「ものづくり力、技術力、開発力、行動力」で「お客様の高い満足と強い信頼を頂く商品を提供する」を経営理念として、ファクトリーオートメーション機器等の精密部品を高い技術力を持って生産しており、堅実な成長を続けております。

ものづくりにおける経営理念は当社と共通するものであり、高い親和性を根幹として相互の力を合わせて部品メーカーを取り巻く社会課題の解決に一層貢献するとともに、業容拡大ならびに新分野参入への加速に向けて株式を取得いたしました。

今回の株式取得(子会社化)により、グループ内の経営資源の共有や事業提携を通して相互にシナジーを発揮し、新たな価値創造と一層の企業価値向上に取り組んでまいります。

###### ③ 企業結合日

2024年7月1日(みなし取得日)

2024年7月3日(株式取得日)

###### ④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

###### ⑤ 結合後企業の名称

当面の間、変更はありません。

###### ⑥ 取得した議決権比率

100%

###### ⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものです。

(2) 中間連結会計期間に係る中間連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2024年7月1日から2024年9月30日まで

(3) 被取得企業の取得原価および対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	1,141,000千円
取得原価		1,141,000千円

(4) 主要な取得関連費用の内容および金額

アドバイザーに対する報酬・手数料等 69,922千円

(5) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法および償却期間

① 発生したのれん

531,387千円

なお、上記の金額は暫定的に算定された金額です。

② 発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力であります。

③ 償却方法および償却期間発生原因

8年間にわたる均等償却

(6) 企業結合日に受け入れた資産および引き受けた負債の額ならびにその主な内訳

流動資産	786,640	千円
固定資産	344,611	千円
資産合計	1,131,251	千円
流動負債	158,503	千円
固定負債	363,135	千円
負債合計	521,638	千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	中間連結 財務諸表 計上額
	自動車部品製造 事業	その他	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,468,729	97,105	11,565,833	—	11,565,833
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,468,729	97,105	11,565,833	—	11,565,833
セグメント利益	627,154	8,296	635,451	—	635,451

(注) セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループのセグメントはこれまで単一セグメントでありましたが、2023年7月3日付で株式会社マルヨシ製作所の株式を取得したことに伴い、当中間連結会計期間より「その他」を新たに報告セグメントとして追加し、「自動車部品製造事業」および「その他」の2区分によりセグメント情報を記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(負ののれん発生益)

「その他」セグメントにおいて、株式の取得により株式会社マルヨシ製作所を連結子会社としたことに伴い、負ののれん発生益を特別利益に計上しております。当該事象による負ののれん発生益の計上額は、中間連結会計期間において38,687千円であります。

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	中間連結 財務諸表 計上額
	自動車部品製造 事業	その他	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,295,853	372,064	11,667,917	—	11,667,917
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,295,853	372,064	11,667,917	—	11,667,917
セグメント利益又は損失(△)	806,758	△14,723	792,035	—	792,035

(注) セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当中間連結会計期間において、株式会社ピーアンドエム(2024年7月3日株式取得)を連結子会社化したことに伴い、同社を「その他」セグメントに含めております。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当中間連結会計期間において、株式会社ピーアンドエム(2024年7月3日株式取得)を連結子会社化したこと等により、前連結会計年度の末日に比べ、「その他」セグメントの資産の金額が1,176,958千円増加しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」セグメントにおいて、株式会社ピーアンドエム(2024年7月3日株式取得)を連結子会社化したことにより、当中間連結会計期間においてのれんが531,387千円発生しています。

なお、のれんの金額は、当中間連結会計期間末において、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。